

1. 気象観測機材の販売

➤ **対象国**：インドネシア

➤ **内容**：

水文気象観測を行っているローカル企業であるTATONASは雨量計は自社製品を有しているものの、水位計、地震測定機器、気温・湿度計といった気象機材を自社製品できていない。このため、センサー類の需要は高い。なお、TATONASはほぼインドネシア全土を対象に観測機材を設置している実績がある。

➤ **資金**：BtoBあるいはBtoG

➤ **対象国**：フィリピン

➤ **内容**：

フィリピン全土をカバーする気象レーダー19台のうち11台がSバンド単一偏波レーダーである。JICAの技術協力プロジェクトで気象レーダーの発展的活用である定量的降水量推定（QPE）の技術移転を実施中であり、精度の高いCバンド二重偏波レーダーへの更新やX-MPレーダーの導入してQPE技術を活用することで予測精度向上につながる。

➤ **資金**：BtoGあるいはODA

2. 気象情報サービスの有償提供

➤ **対象国**：インドネシア

➤ **内容**：

BPBD（地方防災局）DKI Jakartaが独自開発した災害管理情報システムのアプリケーション（SIMBA）は気象情報や災害リスク情報などのコンテンツが不足していることから、これらのサービスがSIMBAに接続されて提供されることを要望している。また、BNPB（国家防災庁）の災害時意思決定システムInAWAREが契約満了に伴って稼働できていないため、支援のニーズがある。

➤ **資金**：BtoGあるいはODA

➤ **対象国**：インドネシア

➤ **内容**：

BNPB（国家防災庁）は災害時意思決定システムInAWAREを運用していたが、システムの運営・維持管理費用を負担していたUSAIDとの契約満了に伴って現在はシステムが稼働できていない。このため、災害時意思決定システム支援のニーズがある。

➤ **資金**：BtoGあるいはODA（BNPB）

2. 気象情報サービスの有償提供

- **対象国**：インドネシア、フィリピン、ベトナム
- **内容**：
対象国の河川管理省庁においては降水量から洪水浸水想定区域及び浸水深を推定する河川流域氾濫予測ツールの需要が高い。このため、河川流域氾濫予測ツールを導入して気象レーダーの加工データや精緻な地図データ（AW3D）などを取り込むことでシミュレーションの精度が向上し、対象国の洪水予測の精度向上につながる。
- **資金**：BtoGあるいはODA

3. 個人向け携帯電話アプリの開発

- **対象国**：ベトナム
- **内 容**：
スマートフォンのアプリによる気象情報配信サービス。ベトナムの民間気象会社であるWeatherPlus社と協働して気象情報配信アプリケーションの開発を行い、災害発生時に意思決定をサポートできる気象や災害リスクに関する情報を提供することで民間企業や地域住民が自助・共助に寄与することができる。また、対象国において気象情報配信サービスを行っていない中央政府や地方自治体にも需要があるものとする。
- **資金**：BtoB（あるいはBtoG）